



ふくろうコレクション②

アウルコート真駒内のシンボルは、施設名に由来するふくろう。人形や絵などさまざまなふくろうが、館内のあちこちに飾られています。

開設以来、少しずつ増えているこのコレクションに、昨秋新しい仲間が加わりました。表情豊かなふくろうたちは、木製・陶製・革製と素材も多様で、見る人を飽きさせません。

ご寄贈くださったのは、昨年お隣のマンションからご入居されたご夫妻。実は長年ふくろうグッズを収集され、アウル開設時にはふくろうの名を持つ施設の誕生に縁を感じられたとか。

ご入居にあたり「好きなものを差し上げます」とのうれしいお申し出を受け、武田施設長と関川生活相談員が約300点ものコレクションの中から20点を選んで頂戴しました。そのいくつかを紙上でお披露目します。



▲クリスマスの衣装と、新調したお出かけ用ダウンコート

スタッフ リレーエッセー

勤続15年を迎えて

私がアウルコート真駒内に別の業種から事務員として入社し15年が過ぎました。あっという間に感じますが、入社当時を思い返すと懐かしい気持ちになります。



▲勤務1年目のころの写真

そのころは「らんこ」という犬がいました。初めて入った介護の世界で施設の行事に参加することや、生き物を飼ったことのない自分が事務室で犬のお世話をするなど、前職では経験できないとても新鮮な毎日でした。

一方で、今日までに東日本大震災や胆振東部地震の停電、コロナ禍など生活に制限がかかる出来事も起こりました。

そんな災難は乗り越えて、入居者様が安心して暮らせる環境をつくるため、これからもアウルコート真駒内を支えていきたいと思っています。

経理課長 田中 克昌

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)
アウルコート真駒内
 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
 TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

交通機関 ●地下鉄南北線「真駒内」駅下車
 ●じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)
 アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



普通の生活を諦めない

代表取締役 武田 治信

各地の花の便りに心が浮き立つ4月、アウルコート真駒内は16回目の開設記念の日を迎えました。平成19年の開設の日、「旅するように暮らしたい」をコンセプトに、「自分や自分の家族がしてほしいことを実践できる良質なサービスの提供」を目標に掲げました。

高齢になると生活の中で出来ないことが増えます。施設に入ると集団生活のルールがあり、残念ながら普通の生活とは縁遠くなる傾向にあります。私たちは、入居された方が望む生活を守りたい、高齢になって施設で暮らすことを普通の生活を諦める理由にはさせたくないという思いを抱いてスタート地点に立ちました。

ここ数年のコロナ禍では感染対策優先で、多くのことを制限しなければならず、私たち職員には心苦しい日々が続きました。時としてアウルコート

らしさを追求できないストレスに悩まされました。そうした中であって、「この3年間はひどかったけれど、季節の行事や折々に活かされる花、職員の皆さんの一生懸命な姿に随分慰められましたよ」と温かい言葉で励ましてくださった入居者様やご家族、地域や関係機関の皆様の存在は、私たち職員のエネルギーの素であると痛感しました。アウルコートの暮らしは皆様とともに創り上げ守っていくものなのだ、いま思いを新たにしています。

今年5月、新型コロナウイルスは感染症法上5類に引き下げられ、いよいよ「ウイズコロナ」という新しい時代が始まります。皆様の普通の生活を守るために、改めて全職員が初心に思いを馳せ、ここからまた皆様と17年目の新たなページを刻んでいきたいと考えています。



お正月を満喫

アウルコートでは、邪気をはらい無病息災を願う昔ながらの伝統行事を大切にしています。この数年のコロナ禍を経て、健康と長寿を願う気持ちはこれまで以上に強くなりました。季節の行事を迎える度に職員は1年の節目を実感し、次の年も同じよ



▲「明けましておめでとうございます」と声をかけ合う元旦恒例の新年交礼会。武田代表からも入居者様に新年のごあいさつ

うに皆さんと行事を楽しむために自身の役割を果たしたいと思いを新たにしています。

今年もお正月の行事を例年通り行いました。元日は朝一番に新年交礼会があります。新年のあいさつを交わして、彌彦神社のおみくじと御神酒でお正月らしさを満喫。朝食にはお赤飯を召し上がっていただきました。

食事がメインとなる行事も行いました。7日(土)は七草粥。11日(水)は鏡開きで、おしるこを楽しんでいただきました。

歳月とともに変化

同じ形式の繰り返しと思われるがちな年中行事ですが、アウルでは齢を重ねる入居者様の実情に合わせて、少しずつ形を変えています。

新年交礼会では、ノンアル

コールの御神酒もご用意。1階レストランへの参集が大変とおっしゃる方が年々増え、希望者にはお部屋でおみくじをひいていただきました。現在、新年交礼会は形式の再検討を進めています。また、鏡開きのおしるこは誤嚥の危険性がある鏡餅ではなく、高齢者に飲み込みやすい豆腐入りの白玉団子でした。

無病息災を願う行事の趣旨はそのまま、入居者様を第一に考えるアウルらしいスタイルをつくりながら、これからも伝統行事のある普通の生活を守っていきます。



新年は邪気払いの伝統行事からスタート 無病息災・無事安泰を願って



アウルの四季彩々日記

生活に根付いた年中行事は、季節を感じる風物詩。お正月のほかにも、さまざまな伝統行事を楽しみました。毎年重ねていく思い出の今年度版を写真でお届けします。



●2022/12/24(土)

サンタがやって来た!

クリスマス・イヴは、アウルでもサンタとトナカイが各戸を巡りました。各部屋では、プレゼントのクッキーを入居者様お一人おひとりに直接お届け。2階多目的室では皆さんでクリスマスケーキに舌鼓を打ちました。



●2/3(金)

赤鬼がやって来た!

節分は職員扮する赤鬼が棍棒を片手に各部屋を訪ねました。「キャー!」と声の上ったところが鬼の居場所。だんだん近づく歓声に入居者様の期待も高まります。姿を現した鬼に思い切り落花生を投げて厄をはらいました。

●1/1(日)

お正月飾りと記念撮影

お正月らしい華やかなフラワーアレンジメントのあるエントランスと1階エレベーター前は、記念撮影スポット。入居者様ご提供の美しい羽子板飾りが色を添えます。撮り初めのお顔は新年の喜びにあふれていました。



●3/3(金)

桃の節句のひな飾り

アウルのひなまつりは、ひな人形の飾りつけから始まります。2/20にレストランに有志が集まり、見本写真を見ながら飾り付け。ひなまつり当日は入居者様が一堂に会し、柳月の季節限定のお菓子とお喋りを楽しみました。

